

研究課題：鼠経ヘルニアの内容物の画像所見についての後ろ向き研究

1. 研究の目的：鼠経ヘルニアは小児に多く、外科的にヘルニア門閉鎖術が施行されることが多い疾患です。鼠経ヘルニアの内容物によって手術の緊急度や、術式が異なるため、鼠経ヘルニア内容物の画像所見を明らかにします。
2. 研究の概要：鼠経ヘルニアは、小児に多い疾患です。脱出する臓器は腸管、腎臓、尿管、卵巣、子宮や腹腔内脂肪など多岐にわたります。脱出臓器の種類と、その臓器の血流の有無やそれに伴う閉塞起点の有無によって外科的なヘルニア門閉鎖術の緊急度は異なります。また、術中に予期せざる内容物であった場合、追加の処置が必要となる可能性があります。今回の研究では、それぞれのヘルニア内容物の画像所見の特徴を明らかにします。これによって、鼠経ヘルニアの診断と加療が、より正確に、そして安全になると考えます。
3. 研究の方法
研究期間は2006年9月から2021年7月までの鼠経ヘルニアを認める患者様で、診断と加療のために超音波検査、CT、MRI、核医学検査が行われた患者様の、検査時期、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。
4. 研究期間
2021年9月から2022年2月までの6ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。
5. 研究に用いる資料・情報の種類
研究期間は2006年9月から2021年7月までの鼠経ヘルニアを認める患者様の診断、加療に撮影された超音波検査、CT、MRI、核医学検査の結果を用います。
6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

7. 研究組織

研究実施責任医師： 細川 崇洋

研究施設名：地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話 048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年10月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）